



き 氣のいいバルテクとアヒルのはなし

トゥルスカ作 おびかゆうこ訳 とくましょてん 徳間書店

氣きのいいバルテクは、まずしくかぞくもいません。でも、1わのアヒルをとてもかわいがっていました。

ある日ひ、イバラのトゲにからまったカエルの王おうをたすけると、おれいにあらしの魔法まほうをさずかりました。

その帰り道かえみち、兵士へいしをつれた大将たいしやうにであい、家いえにとめることになりました。大将たいしやうはアヒ

ルを見るみなり、夕食ゆうしょくにいただきます。というのです。そんなことはできません。そこでバルテクが魔法まほうのしらべをくちぶえでふくと、おおきなあらしがおこりました。

